

凧通信～あおぞら食堂(炊出し・復興支援)活動報告

第5号 発行 平成23年10月16日 株式会社 凧スピリッツ メディア広報部編集

◆9月報告書.....ラーメン凧 ボランティア担当 椎葉三江

あおぞら食堂の9月度の活動報告をさせていただきます。まずは、8月19日のオープンが無事に済むことが出来、現在に至るまで活動出来ておりますことを、ご協力下さっている皆様に深く感謝いたします。



あおぞら食堂ではオープン以来一律200円での提供をさせていただいておりましたが、かねてから告知の通りメニューの変更、価格の改定を9月11日にさせていただきました。その日は東日本大震災から、ちょうど半年の日になります。南三陸町の方々はもちろんその他の被災地の方々にとっても特別な日であったのではないかと思います。身の引き締まる思いで「あおぞら食堂」のリニューアルにあたりました。



↑店主の椎葉さん(上写真右)。地元の常連客と
 ↑広い駐車場を利用し、晴れた日にはトレーラーハウスの前にテーブルを広げて営業 ←さっぱりと澄んだスープに、煮干しなどでつくる塩だれが旨味に奥ゆきを加える。塩ワントンめんは850円(町民価格400円)。トッピングのわかめは震災前に塩蔵した三陸産を使用。仙台の名店・五福屋直伝のワントンは抜群にうまい

被災地の屋台に行こうよ

ポラント
 現地入りし
 そのまま開店
 絶品ラーメン
 宮城県 南三陸町
 歌津あおぞら食堂

東京の有名店「嵐」のスタッフ・椎葉三江さんは、震災後ボランティアとして南三陸町を訪れ、炊き出しに参加した。以降そのまま同地で活動を継続提供されたトレーラーハウスを利用し、開業した「歌津あおぞら食堂」を切り盛りする。「麺はカネジシ食品さん、ワントンのレシピは仙台の五福屋さんと、さまざまな協力によって食堂は支えられています」(椎葉さん)。トレーラーハウスで作ったとは思えないほど、完成度の高いラーメンを出す。南三陸町歌津管の浜55-1。営業時間 半～19時/月休。固定電話なし

らーめん
 950円
 (町民価格400円)
 塩ワントンめん

(週刊現代 10月22日号グラビア記事にて、あおぞら食堂が掲載されました)
 塩ラーメンには地元の方よりいただいたわかめをトッピングすることで、磯の香りがただよう彩りも鮮やかな塩味に。
 醤油ラーメンはタレの醤油を最後にあわせることで醤油そのものの奥行きを感じるこの出来

る味わいに。

地元の方々もたまたま寄っていただいた方にも大変好評で口コミでいらっしゃる方も多く見られます。

また、五福星の早坂様よりご提供頂きましたワンタンを使ったワンタンメンもメニューに加えさせて頂きご提供させて頂いております。

人気商品としてはチャーシュー麺が非常に人気が高く、日によっては杯数がノーマルのラーメンを超える日もあり、驚かされる時もあります。



(元気づけられる子供さんの笑顔)



(皆藤アナウンサー取材訪問)

小さなお子様からお年を召された方まで幅広くご利用頂き本当にありがたく思います。

nagi あおぞら食堂の献立

	一般価格	町民価格
● ラーメン (醤油・塩) <small>日本人の原点。正確の奥行き味わいを感じてください。おいしさをたっぷり！愛情たっぷり！</small>	¥650	¥300
● わんたん麺 (醤油・塩) <small>フルフルわんたんから肉汁スープがジュワジュワ</small>	¥800	¥400
● 肉々ラーメン (醤油・塩) <small>チャーシューがいっぱい！お肉いっぱい！</small>	¥850	¥400

新定番!

● ギョーザ7コ (ジャンボサイズ) <small>どでかいサイズ！お肉。野菜のうまみもどでかいサイズ！</small>	¥400	¥200
--	------	------

トッピング!

● 味付玉子 <small>お好み高村をプラス！自分のラーメンにカスタマイズ！</small>	¥100	無料
● のり		
● 大盛り		
● ネギ増		

サイドメニュー!

● チャーシュー丼 <small>両付けは心を込めて、たまらない、とまらない！</small>	¥400	¥200
● ごはん	¥100	無料

アルバイトスタッフ募集! + がんばる力、発揮します! +

- 時給 ¥800
- 時間 10時~15時

価格に関しましては、復興応援価格と町民価格とに分けさせて頂き町民価格におきましては半額以下でのご提供をさせて頂いております。

ボランティアで南三陸町にいらして下さっている方の中には「自分達は安くしてくれてもいいのではないか」という声もありましたが、私どもの活動内容や支援の形などをお話させて頂きご理解いただいております。

(←新メニュー表)

中にはその後ネギなどの野菜を持ってきてくださったボランティアの方もいっしょに交流などの大切さを身をもって感じることもしばしばありました。



(あおぞら食堂を訪れて下さった山本リンダさん)

また、9月末日で完全に撤退するボランティア団体も多く、不安げに語る地元の方もいっしょに自分達のあり方を深く考えさせられることもありました。今後の課題としては地元の方の雇用などがあります。しかし、まだ瓦礫の撤去作業などが残っているため「来たいけど瓦礫の仕事もまだあって・・・」という声も多く具体的なところまで至っていないのが現状です。優先すべきお仕事に配慮しながらも

以前紹介いただいた方々ともう一度話をするなど、私も行動に移していかなければならないと反省いたします。POPでの呼びかけなども、以前以上に行い積極的にやっていきます。



(あおぞら食堂車道側入り口)

また、これから寒さが厳しくなってくることで仮設住宅に入ってもらっしやる方など新たな問題が予

想されます。

自治体などとの連携も取りつつ自分達に何が出来るのか、何をすべきかを頭におきつつ今後も活動させて頂きたいと思えます。

今月も皆様のご理解、ご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。



(週刊現代 10月22日号グラビア記事、「被災地の屋台に行こうよ」より転載)

◆ラーメン凪グループ各店9月募金額

駒込店 23,577 円、西新宿店1F4,597 円+西新宿店 2F3,079 円、渋谷店 6,705 円、新宿ゴールデン街店 11,298 円の合計 49,256 円です。募金累計総額は 5,909,607 円です。

◆ 協賛企業紹介(50音順) 株式会社アブ・アウト(らーめん山頭火)様、株式会社 アール・エー・アール『麺や七彩』様、カネジン食品株式会社様、『災害復興支援団体』仙台・とどけ隊様、社団法人日本トレーラーハウス協会様 仙台ラーメン店 五福星様 以上。